



ともに

創刊号

令和6年6月発行



桜・・・令和6年4月 桐生園中庭にて撮影

表題「ともに」作者・・・大西俊枝（デイサービスご利用者様）

社会福祉法人 桐生会

高齢者総合福祉施設 桐生園 ☎ 077-549-1129 (代表)

特別養護老人ホーム ☎ 077-549-3210

デイサービス ☎ 077-549-1130

グループホーム ☎ 077-549-8611

桐生園 ショートステイ ☎ 077-549-3210

居宅介護支援事業所 ☎ 077-549-1816

ヘルパーステーション ☎ 077-549-1816

特別養護老人ホーム 夕照たまのうら ☎ 077-548-1022 (代表) たまのうら ショートステイ ☎ 077-549-1022

理事長より

先ず、この度の能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災地域の方々の安全と被災地域の日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

さて、わたくしども社会福祉法人桐生会は、高齢者総合福祉施設桐生園並びに特別養護老人ホーム夕照たまのうらを運営し、現在スタッフの総数220名となっております。桐生園は創設43年の歴史があり、自然豊かな桐生の地に約8000坪の広大な敷地を有し、地域福祉の拠点として、施設福祉と在宅福祉に取り組んで参りました。

一方、夕照たまのうらは、施設名称のとおり、琵琶湖岸の風光明媚な夕照の道の近傍に開設して以来、今年で7年目を迎えます。年を増すごとにスタッフ体制も安定して充実するなかで、これまで以上に地域の福祉ニーズに応えられるよう、隣接に増床整備計画を実施することとなりました。増床計画も順調に推移し、本年一月、増床棟をオープンしたところであります。おかげさまで、現場スタッフを中心に密な連携と尽力により、現在、順調にフル稼働の状況となっております。

このことを機に、これまで別々に掲げていた施設理念を統一することとなりました。法人理念は、「共に笑い、共に楽しみ、共に生きる」です。理念の副題として、「誰もが、温かくて、居心地が良いと感じられる「暮らし」を提供します。」を掲げ、向後、理念の実現に向け、「共に」しっかり取り組んで参ります。

この基本理念のもと、7つの基本方針を掲げ、改めて職員ハンドブックを時代に合致したものに整備し、周知徹底を図ることと致しました。

引き続き、地域から選ばれる施設を目指し、よりケアの質を高め、ご利用者に満足していただけるよう、職員一同奮励努力して参る所存です。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

理事長 伊藤 邦治



総合施設長より

法人の評議員、監事を経験していましたが、5月より総合施設長として着任しました。私は京都市の特養はじめ高齢、障害福祉施設に40年以上勤務していますが、桐生園が開設して間もなく見学に来たことを覚えています。自然の豊かさや施設の広大さ、ゆっくりと老後を過ごすことのできる印象で滋賀県での先駆的施設です。

夕照たまのうらは保育園やスーパーがほど近く、生活感ある施設として地域の福祉拠点となっています。車の両輪として協力、研鑽を重ねて皆様に喜ばれ、親しみある存在であり続けたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

総合施設長 山岸 孝啓



特別養護老人ホーム 夕照たまのうら



本館

夜の雰囲気



今年1月にオープン
した別館



今後も安定した運営を継続し、法人の理念『共に笑い、共い楽しみ、共に生きる』のもと、明日も生きたいと思える暮らしの提供を心がけていきます。



体操風景



フルーツ演奏会

特別養護老人ホーム 桐生園

桐生園多床室では、季節に応じた飾りつけや行事食、食事前の口腔ケア体操や日頃の何気ない会話を通して、施設の中で生活していても「四季や時間（とき）」を感じられるような取り組みを行っています。今後は、コロナ渦で実施できなかった季節に応じた行事やレクリエーションの実施を通して、入居者様やご家族様、また職員が「共に」安心して、笑顔で過ごせる場所を目指していききたいと思います。



正休保育園様との交流風景



中庭のクリスマスイルミネーション

クリスマス演奏会

ご当地メニュー「愛知かつめし」

ユニット個室では、「今までの暮らしの継続」を大切に、個々の入居者様の選択や希望を優先したケアの実現を目指しています。最近では、さくらの家1階で、百寿（100歳）の入居者様、2階では108歳の入居者様の誕生日会を盛大に行い、ご本人様からも「ありがとうね」と言う、ありがたいお言葉を頂きました。今後も「共に」ホスピタリティを感じることができる場所（住まい）を目指していききたいと思います。



ユニット型個室 外観



百寿のお誕生日会



介護課 課長
中谷 和志

夕照たまのうらのオープニングスタッフとして、桐生会に入職をし、足早に6年の月日が流れました。この間、介護職だけでなく、相談員や責任者としての業務を経験させて頂いたことで、視野が広がり、より福祉の深みを学ぶことができました。今年度より桐生会本体に場を移し、夕照たまのうらで培った「働く仲間を大切にする気持ち」を忘れずに、桐生会全体の発展に尽力したいと思います。

桐生園 ショートステイ

桐生園ショートステイでは、月に一回のおやつイベントや、三味線演奏会、紙芝居等のレクリエーションを行い、ご利用者様に楽しんでお過ごしいただけるように心がけています。これからもご利用者様、ご家族様に安心してご利用いただけるように目配り、気配り、心配りのおもてなしの心を大切にし、利用して良かったと思っただけのようなショートステイを目指していききたいと思います。



居宅介護支援事業所



シニアサロン「楽々会」

令和6年2月に青山学区のシニアサロン「楽々会」に出張してきました。手足の体操、口の体操、頭の体操を通してご参加いただいた地域の皆さんと身体を動かしながら、笑い声の聞こえる楽しい時間を共有してきました。コロナが流行した期間に地域との関りが薄くなってしまった部分もありましたけれど、地域の皆さんに桐生園をもっと身近に親しみを感じてもらえるように、今後も交流を深めていききたいと思います。



ヘルパーステーションでは、皆様のご自宅にお伺いし、入浴介助等の身体介護、調理や掃除等の生活援助をさせていただいています。ご利用者様宅のルールに従って細かな所まで気配りする事を心掛けています。掃除中に調理をされている方もいます。レシピを教わる事等もあり楽しく訪問させていただいています。

ヘルパーステーション



桐生園グループホームは認知症の方々が、慣れ親しんだ地域の中で、人との繋がりを大切にしています。個々の生活を職員が寄り添う事で、心地よさと生き甲斐のある暮らしができるよう日々心がけています。



お花見会



水やり



日々の調理風景



桐生園 デイサービス

桐生園デイサービスセンターは、四季の移り変わりを感じながらご利用いただけるデイサービスです。体操やレクリエーション、脳トレプリントなどもご用意し、皆様のご来園をお待ちしております。令和6年4月からは職員が新体制になりました。気持ちも新たにがんばります。



人事交流の 取り組み

～桐生園・たまのうら～



主任
徳岡和泉

たまのうら→
桐生園へ



桐生会では、人事交流として特別養護老人ホームの「桐生園」と「夕照たまのうら」より数名、互いの施設で一定期間勤務する取り組みを行っております。社会の変遷と共に、求められる福祉のニーズは多様化しております。法人の基本方針にも掲げております多様なニーズを柔軟に受け止める力が、私共職員にも必要不可欠となってきています。この人事交流を通じ、他の様々な人たちとの交流で刺激を受けたり学んだりすることで、これまでの活動だけでは体験できない世界を知ることができます。このような経験をする事で、これまでと違った視点で物事を捉え、また考えることができるようになり、何時の時代にあっても、福祉に求められる多様性のある人材の育成に役立てる取り組みを行っていきたいと考えています。

以下、実際体験した職員の感想を紹介します。

桐生園さくらユニットの夜勤体制を変更するといった目的もあり、R5年7月から11月の間、桐生園さくら2階で勤務をしました。時折日中において正職員が少ない状態があり、そのため十分な情報提供を受けることが難しい中での勤務開始となりました。そして当時各ユニット間の協力体制がまだまだ不十分なこともあり、同様の事故が発生することもありました。そのような状況があり、各職員の努力のみでは改善することが難しい状況でした。しかし、夜勤の体制を変更することで、正職員が日中の時間にも常に入るようになり、入居者の方の日中の様子もより深く理解できるようになりました。また変更した結果、職員の身体の負担も軽減されるなどの改善点も見られるようになりました。

最初は5か月間という短い期間で本当に環境を改善できるのかと不安でしたが、夜勤体制の変更を実現することができ、みんなで現場を良いものに変えていく楽しさと達成できた時の喜びを実感することができました。

令和5年4月から半年間、人事交流として夕照たまのうらで勤めさせていただきました。人事交流を行って良かった点として、これまで交流のなかった職員の方々と繋がりが出来たことや他施設で業務を行うことでより広い視点で物事を考えられるようになりました。

これからも夕照たまのうらで学ばせていただいたことを活かして頑張っていきたいと思えます。

副主任
松本遙次郎



桐生園→
たまのうら



副主任
木村今日子

たまのうら→
桐生園へ

今回、6年ぶりに古巣に戻り、互いに少し白髪が増えた昔の仲間と再会し、変わらず元気に働いている姿に感慨深い気持ちになりました。夕照たまのうらでは当たり前と思っていた新しい設備にありがたさを感じる一方、桐生園では中庭があり、どの部屋にもたっぷり日が差し込み、明るい気分になります。

人事交流は自施設に足りないところに気づく、また良いところの再認識をする機会となります。双方が特性を生かしながら、良いところ取りをすることで入居者様にとって居心地の良い、職員にとって働きやすい職場作りに繋がることと思います。

令和5年5月から9月末までの間、人事交流で桐生園の多職種連携室でケアマネジャー業務に携わらせて頂きました。同じ法人内であっても職場の雰囲気や人員配置、働き方、地域との距離感に違いがあって、最後まで新鮮な気持ちを持って携わることができました。また、桐生園のケアマネジャーや専門職と意見交換をする機会も多く、ケアプランを作成する上での新たなアプローチ手法や業務の連携方法を学ぶことができ、短期間でしたが充実した交流をさせて頂きました。今回の経験で得られたことを大切にして入居者様により良いケアを提供できるよう努めていきたいと思えます。



介護支援専門員
奈良井義正

たまのうら→
桐生園へ

職員紹介

～外国人技能実習生（桐生園）編～

Q.桐生園で働いてみて

桐生会では、中国・インドネシア・タイより外国人技能実習生を受け入れており、日本語も勉強しながら、働いてくださっています。今回は桐生園で働く9名の実習生を紹介します。



チトラ デアンティウイ

所属 かれんの家1
勤務 1年
出身 インドネシア

仕事は疲れるけど、利用者様とお話できて嬉しいし、毎日楽しいです。日本語がまだまだなので、もっと話せるようになって、利用者様と色々な話ができるようになりたいです。



ハイファ イルミヤアザラ

所属 かれんの家2
勤務 1年
出身 インドネシア

桐生園に来てよかったです。



エウタイサバラウ ランドリバダ

所属 かれんの家1
勤務 6か月
出身 インドネシア

私は母国の大学を卒業後、桐生園が初めての就職先でした。たくさん教えてもらい、日本語も見て勉強しています。利用者様にあったやり方を勉強し、毎日頑張っています。



マリア ユニタデイワ

所属 かれんの家2
勤務 6か月
出身 インドネシア

桐生園に来られてよかったです。しんどいことはないです。嬉しいです。



アユ アスニアティガハレ

所属 かれんの家2
勤務 6か月
出身 インドネシア

私は母国で働いており転職になります。初めてで大変なこともあります。慣れてきました。利用者様によってやり方は様々なので、一生懸命頑張っています。楽しいです。



コイ

所属 みずきの家
勤務 1年
出身 中国

職場の雰囲気がいいです。職員も優しい。一緒に働けて楽しいです。



リモ

所属 さくらの家
勤務 1年
出身 中国

大変なことはありません。いい感じです。

チョウ シンテイ

所属 みずきの家 勤務 2年 出身 中国

しんどいこともありますが、職員の皆さんが優しいです。難しいことも相談すると手伝ってくださいます。

ガク クンイ

所属 みずきの家 勤務 2年 出身 中国

大部分は楽しいです。個人的なことですが、日本語の勉強が大変です。仕事は多く疲れますが、職員が優しくいい人ばかりです。

編集後記

この度、桐生会広報誌創刊号発行の運びとなりました。ご覧いただきますようお願い申し上げます。さて、家族の負担を軽減し介護を社会全体で支えることを目的に、2000年に創設された介護保険制度が制度創設後四半世紀を迎えようとしています。海外では介護の概念がないといった国もあると聞きますが、現在、桐生会では技能実習生等の外国人介護人材を受け入れています。桐生会の介護が先駆的かつ海外の模範となるべく研鑽を重ねていきたいと思っております。

夕照たまのうら 多職種連携室室長 橘 智彦